

「評価・育成システム」の賃金リンク 「育成が目的」はいつわり!

府教委は、この4月に規則をかえて、06年度評価結果を07年度から賃金にリンクすることを強行しました。6月12日に府教委は市町村教委に具体的な取り扱いについての通知を出しました。

05年度評価結果

自己申告票の提出率 95%

評価結果分布

S 0.9% A 33.8%
B 63.8% C 1.4%

自己申告票の提出率が高く、評価結果の分布も前年度と大きく変わらないことをもって、府教委はこのシステムが定着している根拠にしています。

しかし、府教委や市教委がいつてきたように、「育成が目的」と

7/7 豊中を通過します! 国民平和大行進

核戦争をやめよう! 核兵器をなくそうの思いで、毎年8月に開かれている原水爆禁止世界大会。その大会にむけて、全国各地から、広島に一步一步平和の歩みをすすめています。

今年も豊中には、7月7日、国民平和行進が通過します。

いうのであれば、この分布が毎年少しずつでも高い評価になることが本筋の姿ではないでしょうか。しかも、「期末・勤勉手当及び期末特別手当に関する条例」では、「職員の昇給は、予算の範囲内」となっています。まさに、この間の評価の分布の割合によって予算化がなされるという「相対評価」によるシステムです。

06年度の「評価・育成システム」について、豊中市は現在(7月3日)のところ、まだ現場への説明をおこなっていません。

全教豊中は、この問題について、市教委と話し合いをもちました。組合が指摘したのは次の点です。
・「育成が目的」といつてきたのに、賃金にリンクさせることはおかしい。

平日ですが、少しでも一緒に歩きませんか?

日時 7月7日(金)
午前8時30分~9時
場所 市役所前

短時間の集会後、行進に移ります。豊中市役所から池田市役所、そして、川西市役所へと兵庫へとバトンタッチしていきます。

・「手引き」には、絶対評価と書いてあるようだが、予算の範囲内ということで、相対評価にならざるを得ないのではないかと
・昨年度までの問題点をきちんと集約・整理できているのか。校長に問題点などを聞いているのか

POWER UP講座

第2回 「おもしろ理科実験」三上周治さん

明日からの理科が楽しそう

6月17日(土)第2回の講座をおこないました。

今回は、「電気と磁石」をテーマに楽しい実験を次々に見せていただきました。講師の三上さんはもともと社会科が専門。小学校の理科の授業をするために、子ども向けの科学の本を一単元につき7~8冊読むことから始めたそうです。予想の段階でたとえ少数派で



・業績評価とは何か? うまくいけば、業績評価が高くなるのか

こつした問題点を改めて指摘しました。全教豊中は教職員の協力をなすには成り立たない教育の営みを壊すものということで、この「評価育成システム」の撤回を引き続きもとめます。

あつても、実験結果で少数派が正しいということもあることから

「理科は民主主義を教えるのに最も適した教科」とおっしゃったのが印象に残りました。

あつという間に感じてしまっただけに楽しい実験ばかりでした。授業を楽しくする、子ども達を楽しませる実験、またその実験

をさらに生かす言葉かけ、子どもの動かし方も本当に感動しました。今日教えていただいたことを必ずやっていこうと思います。

(新任 男性)

子どもの興味に合わせた科学の楽しさを教える方法を学べて、とても勉強になりました。楽しい授業づくりは、教材の使い方も工夫しました。教材研究と授業の工夫をがんばりたいと思いました。ありがとうございました。

(新任 女性)

ほんとうに楽しかったです! 私も先生のような授業をして、子ども達の知的好奇心をくすぐりたいなあと思います。理科では、これからできるだけ実物を用いて子ども達が実感を持って学べる授業をしていきたいと思っています。

(二年目 女性)

全教

370
2006年7月4日

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561 0874 豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

HP <http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>